

(江川小 第1回) 学校規模適正化に係る意見交換会の概要

日 時 8月29日(月) 午後7時30分～午後9時00分

場 所 江川小学校 ランチルーム

出席者 男5名、女4名 計9名 (保護者数 26名)

質疑・意見内容	回 答 等
<p>【江川小】</p> <p>○ スケジュールで、初年度は今年度のことか。</p> <p>○ 統合は決まっているのか。</p> <p>○ 反対が出れば白紙になるのか。</p> <p>○ 基準年度は平成28年度だが、今後5年間、それから明らかに減っていく、もっと先を見通した事はしないのか。</p> <p>○ スケジュールについて。初年度は今年で、各学校の複式を解消していきたいとのことであるが、H25年度の統合は期間が短すぎないか。一番心配しているのが子ども達だと思う。説明会では中学校に上がっても問題なく、統廃合しても問題ないといわれていたが、今まで6年掛けて中学校に上がって他の地区の子と一緒にいる、という段階を経ているものの、江川の場合(慣れないため)不登校の子がいる事もある。そのためもう少し期間を空けてほしい。</p>	<p>○ 早ければ、今年度に懇談会を設置します。</p> <p>○ 懇談会で統廃合の方向性、合意形成をする。説明会は具体的な案の提示ではなく、町の全体計画(案)です。校区等具体的な課題等が提示されていないので、意見交換をしにくい面もあると思います。</p> <p>○ 様々な課題が出てくる。そういった課題に対して、皆さんで懇談会に出て頂いて議論を尽くして解決策をまとめてもらいたいと考えています。その中で他の方法も出るかもしれない。但し、町としては基本計画に基づいて推進という立場です。</p> <p>○ 最初に作った計画では0歳児が小学校に上がる時期、一番近い将来として児童数の基準年度としています。町としてはいろいろな少子化対策をしているところです。また、地域に一つは小学校を残したいと考えています。</p> <p>○ 交流事業を半年間かけて行うなど、いきなり4月1日がきたから一緒にということはしません。いろんな機会を通じて、慣れて貰うような場を設ける事も協議していきたいと考えています。</p>

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ (前回答を受けて) 計画はないが、聞き始めが6月である。その中でも統廃合はまだ分からないと説明会で言っていた。推進はしていくが決めるのは保護者(懇談会)であるという考え方と理解しているが、この年度を除く3~5年があれば良いと思っている(個人的には)。ただその中で何をするかは分からないが、バスや制服の話も出てくると思う。 ○ スケジュールとして、今回の保護者が最後で地域の人達への説明会等は無いのか。 ○ 地域への説明はあるのか。 ○ 江川は地域づくりも結構行っていて、学校行事でも地域と一緒にいる。そのためもう少し協議を行ってもらいたい。 ○ 懇談会と協議会のメンバーは。 ○ この話で最後にするつもりであれば、江川は今回この人数しか集まっていないので、出ずに終わってしまう。そのためこの場では決められない。 ○ 懇談会ですぐ結果が出るのか | <ul style="list-style-type: none"> ○ もう少ししたら懇談会の中身について話ができるのではないかと考えています。不安や疑問を懇談会や協議会で議題にして、課題を解消していきたいと考えています。 ○ 説明会全体としては、過去に資料も配付している。説明会に次いで懇談会を立ち上げようと思っています。ただ、江川は別として保護者が少なく地域の人が多い所もあったので。そのため保護者の意見を直接聞いています。説明会と意見交換会などを通して、今は説明・意見交換の段階です。 ○ 懇談会を通して、自治会長会議など要請があれば説明をします。 ○ 懇談会の中でも地域づくり関係の事業を行政の中でも話が出るはず。そういった中で協議できたらと思います。 ○ 自治会長、地域づくり協議会長、センター長、小中学校PTA役員、保育園役員等20名くらいにしたいと考えています。 ○ この場で決めていただくものではありません。意見を聞いて持ち帰って課題を整理し、今後、懇談会のメンバーをきめて相談したい。その代表で話すだけでなく、地域の方が話すべきと言うのなら、懇談会主催でそのような場を設けることは考えられます。20人で決める場合も出てくると思います。 ○ 懇談会も詰めて行うわけではありません。おそらく1ヶ月に1回くらいかもしれない。その間に地域に持って帰って協議もされると思う。そのように進めていくので、代表だけで決める |
|---|--|

○ スクールバスの停留所はどのように考えているのか

○ 小学校1年生で2km程歩くという場所が江川は多い。佐用の町中のように巡回できる所ではなく枝分かれした地域である。大きいバスではなく「3434 サービス」のような小型を家の近くまで、歩く距離を短くしてもらいたい。歩くのも家がない場所もある。なるべく近くまで来てもらいたい。

今のバス停まで2km。1年生1人では大変。5年生などはいるがその後はいない。取りこぼしのないようにしてもらいたい。鹿などもでる。見回りを依頼しても高齢者ばかりで無理。集落があつてずっと家がある場所ばかりではない。集落間に全く家がない所もある。仕事をしている場合迎えに行くこともできない。朝は送って行っている。集団下校で1人になる場所まで迎えに行く。1年生までは集合場所まで、必ず送り迎えすることになっている。

○ 子ども達へ「江川小は楽しいですか」というアンケートをした。楽しいという回答であったが、子ども達の意見は反映されないのか。

○ 複式学級の子がいるが、そのデメリットは感じていない。

○ (複式) それだけ目をかけてもらえるのならば落ちこぼれる子も少なく、体力のない子も気遣ってもらえるのではないか。なら少人数でよい。大人数になれば中間以上の子にあわせてし

わけではありません。

○ 懇談会で基準を作りたい。一定範囲を設定し、自転車・バス等の基準をつくる。但しそれぞれの家の前などにつくるということとはできないと思います。

○ 小型のものも考えられますし、安全面にも配慮し、そのような内容を懇談会で話してもらいたいと考えています。

○ 子どもの学習環境については、大人が責任を持つべきではないかと考えます。

○ 悪いという状況ではありません。「生きる力」育てる事を目的としています。家庭教師のような状況でそのような力が育まれるのか。多様な価値観に触れることが大事ではないかと考えます。現状では、そのような状況ではないので複式解消を目指しています。

○ ・佐用は大規模人数を目指しているわけではなく適正規模校でもありません。
・教委は江川にも力を入れています。
・教員の人数はクラスで決まってきます。

まうので落ちこぼれる子が出るのではないか。統廃合ならその辺のフォローも必要である。仮に教師を2人付けるなどのやりかたもある。切磋琢磨できる子は統合後も伸びていくと思うが、江川の特徴かもしれないが競争心の薄い子もいる。そういった子はどうなるのか、今なら先生と一緒に手を引いてくれている。大人数ならそれができないと思う。

○ 高学年なら自分の意見もある。中学生なら小学校はどうであったか確認してもらったらよい。親の意見だけでというのも良くないし、少人数の学校が良かったのか悪かったのか我々にも分からない。子どもにもアンケートを採ってもらって良いのではないか。

○ 佐用保育園がタテ割りなのは矛盾しているのではないか。

・佐用小でもそのままの人数でしているわけではなく、佐用小では状況に応じてクラスを分けて授業もしています。

・小さい学校の卒業生は、中学校ですべてがトップクラスかと言われればそうでもありません。

・同年代で生活するのが一つの基盤です。精神的にも、集団としての高まり、助け合い、これらは成長段階で大きな一つのステップとなります。これは学校でしかできません。地域に帰れば年齢差・タテの繋がり、保育園でもタテの繋がりが多い。学校の良さはヨコの繋がりであり、クラスで何かを行うことにあります。複式がいけない訳ではないと思いますが、ただ小さな集団で生活し、中学校に上がるのが良いのか、そのような状況は非常にプレッシャーが掛かると思います。どちらにしても良い点はありますが、しかし教育の環境としてどうあるべきか一緒に考えるのがこの場であると思います。多い友達の中で勉強も生活も互いに助けあい協力しながら行う環境を見いだしてあげるのも大人として親として必要でないかと考えます。

○ 子どもにどちらが良いかと聞くと、恐らく、今がよいとほぼ答えるのではないのでしょうか。それを是としてそのまま通しても良いのか、幅広い考え方を子どもに教えるのも必要ではないかと考えます。

もしアンケートを採って、今がよいと子どもが答えたなら、採った側はそれに応じて今後判断するのが良いのか、そうであってもこうするのが良いとして、新しい教育の環境を考えるのが良いのか、難しいと思います。

○ 矛盾していないが、タテ割りばかりで行うというのは、どうかと思います。同年代とタテ割りと、上手く組み合わせる事が必要だと思います。